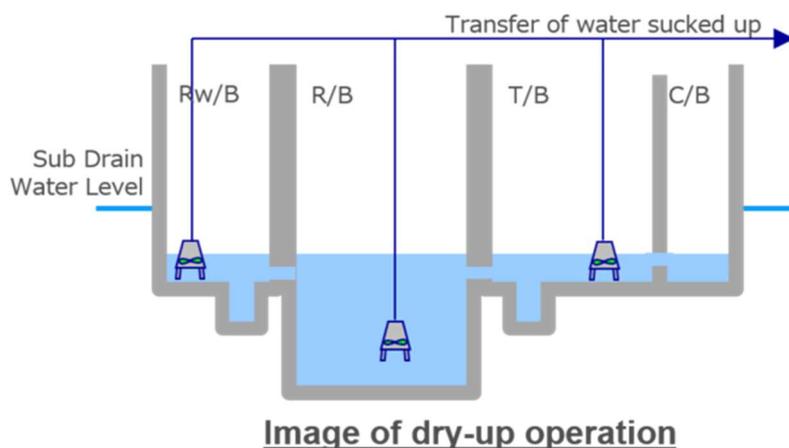


## 高揚程の低水位排水用水中ポンプ

### 【現状】

現在、福島第一原子力発電所1～3号機の建屋内に滞留した汚染水については、浄化処理等のため、水中ポンプで汲み上げ建屋外への排水を行っている。

具体的には、高揚程水中ポンプを建屋床面付近に設置して継続的に自動で排水している。また、高揚程水中ポンプによる汲み上げが完了した一部エリアについては、残水や一時的に流入した雨水の排水のため、仮設の低水位排水用水中ポンプを手動で運転することで、床面から数 mm の水位まで排水している。



### 【問題点】

問題点1:

現在使用している高揚程水中ポンプは、最低 50～60cm 程度の水位がなければポンプが空回りしてしまい運転できないため、床面を完全に露出させるまで排水することができない。

問題点2:

仮設の低水位排水用水中ポンプは、10m 程度の低揚程かつ移送量が少ないことに加え、手動運転である。また、故障頻度が高い(2回/年程度)等の問題もあることから、常時使用することが困難である。

### 【募集内容】

上記の課題を踏まえ、一種類のポンプで建屋内滞留水を可能な限り低水位で維持することを目的として、水位 5cm 程度で運転可能、かつ数 mm 程度の水位まで排水できる高揚程の低水位排水用水中ポンプおよび関係する技術を募集する。

### 【制約条件】

○下記要求仕様をすべて満たす提案を対象とする

容量: 10t/h 以上

揚程: 40m (多段でも可)

始動水位: 床面から 5cm 程度

水位により運転/停止の自動制御が可能なもの

(ただし手動型の場合でも、カスタムにより自動制御が可能となる製品は募集の対象とする)

耐用年数が示されていること

○求める開発レベル

下記の開発レベルのうち、5に該当すること

▶□ 5. 製品化・サービス化済み

4. 実証実験にて効果確認済み

3. 実証実験段階

2. 設計・開発段階
1. アイデア段階

**【応募期限】**(2019年11月08日更新)

2019年11月30日

※応募期間・内容は予告なく変更する可能性があります。

※ご提案いただいた後、上記の期間中に、追加でご質問をさせていただく場合がございます。ご了承ください。

**【注意事項】**

- 制約条件を必ずご確認ください。制約条件をすべて満たしているご提案のみ、東京電力ホールディングス担当部署へ提供されます。
- 画面下部の「投稿する」ボタンより投稿フォームへ移動し、ご提案を記入いただきます。その際、ご提案される内容は、守秘義務を課される必要のない範囲でご記載ください。
- 投稿フォーム内にて記載が必須となっている事項について、質問事項と異なる内容が記載されている場合、ご提案は東京電力ホールディングス担当部署へ提供されません。
- ご提案について、ミーティング等に至らない場合、その理由は機密情報保護の観点から記載することが出来ません。あらかじめご了承ください。